



蓬原の子

志布志市立蓬原小学校
令和六年五月号
学校だより

わくわく登校 いきいき学び
にこにこ下校のよもぎっ子

「一日十分 音読の効果」

校長 徳田 賢一

新緑が眩しい季節となりました。山々にも若葉が繁り明るく感じられます。学校でもサツマイモを一・二年生が地域の方々の御協力をいただき植え付けました。収穫が楽しみです。

さて、「子供の将来の選択肢を増やすためにも、勉強ができる子になって欲しい。」そう思うのは、親として、当然のことと思います。

勉強の総量を、質(内容)と量(時間)のかけ算とするならば、多くの子供は、長時間集中して勉強することが苦手なものです。それなら質で勝負です。短時間で、集中して、効率よく勉強すれば良いのです。その方法の一つが「音読」です。

「音読」には、脳を活性化し、様々な能力を引き出してくれるという効果があることが分かっています。そのため、毎日の勉強の中に「音読」を採り入れるのは、効率よく勉強するのに適しています。

「音読」がすらすらできるようなになると、普段の黙読も速くなります。「音読」によって語彙や言い回しを覚えるため、語彙力も向上し、読む力がしつかりと身につくのです。御家庭でも毎日続けることによって、大きな成果となって現れることでしょう。

そこで、「音読」の効果について「東北大学教授 川島隆太氏の脳科学に関する著書から」いくつか挙げてみます。

○ 黙読している時よりも「音読」している時のほうが前頭前野が左右の脳で活発に働く。(前頭前野は、人間だけが発達している部分であり、想像力、記憶力、コミュニケーション力、自制力などの源泉である。)

○ 勉強が苦手な落ち着きのない子供でも、「音読」でできるようになると自信を持ち精神的に安定してくる。声を出すことによって全神経を集中させることができるので理解力が高まり、同時に自分の声を耳で聞くことができるので記憶もより定着する。

○ これらの効果が期待できる一日十分の「音読」を是非とも継続して欲しいものです。小学生のこの時期に継続した音読の取組で脳を鍛え、後伸びする子供たちを育てていきましょう。

思い出に残る修学旅行

五月八日、九日に修学旅行がありました。行く先は熊本です。この日までに、熊本のことを自分たちで調べて、予習をしました。初日は、熊本城の見学でその雄大さと広大な敷地を散策しました。熊本市内の自主研修に出かけました。途中で大雨になりましたが、それもよい思い出になったようです。ホテルでは、お風呂でさっぱり汗を流し、みんなでおいしい夕食を楽しみました。



グリーンプランドへ行きました。たくさん乗ったの、家族へのお土産を買ったりしました。お昼はクーポン券を使って、たこ焼きや唐揚げなど自分が好きなものを食べていました。



不審者対応避難訓練

五月七日に不審者対応避難訓練を行いました。警察の方に来て頂き、不審者と出会ったときの行動を学びました。不審者が校内に侵入したときは、素早く避難が必要で、学校外で出会ったときは、捕まえられないように距離を取ること。その場からすぐに逃げること。一つ一つを確認して学びました。大人に助けを求め、不審者の人相や乗っていた車の色等を知らせることが



不審者の検挙に繋がる事も学びました。また、ランダムセルまた、ブツを点検し、実際に音が出るかを確認をお願いします。

サツマイモを植えたよ

五月十一日に一・二年生で芋の苗植えをしました。校内二カ所の農園で、地域の方々に教わりながら自分で苗を差し込んでいきました。天気にも恵まれ、気持ちよく作業が進みました。植えるときは、おいしく育ててほしいなど願いを込めました。秋になったらこのサツマイモで焼き芋をします。耕運から畝作りまで、ご支援いただきました地域の皆様にご挨拶申し上げます。



学期初めの検診

新年度が始まると、多くの検診を行います。身体測定に始まり、視力検査・尿検査・歯科検診・眼科検診・心臓検診・内科検診・耳鼻科検診など、どれも大切な検診です。一人一人の健康状況を確認し、必要に応じて病院受診と治療を行いましょう。健康な生活を送るには、元気な体と心の両方に必要です。検診結果も知らせては、個別に治療率100%!



お果に必要です。個別に治療率100%!

6月行事予定

- 3日(月) プール開き
- 4日(火) 5年宿泊学習(1日目)
- 5日(水) 5年宿泊学習(2日目)
- 6日(木) 5年休養措置日
- 8日(土) 児童引き渡し訓練
- 16日(日) PTA奉仕作業
学級対抗バレーボール
- 20日(木) 着衣水泳
- 23日(日) 親子読書の日
- 29日(土) きらり輝く「しぶっ子」育成講演会

